

令和8年度

北島北学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○言語活動の充実を図り、主体的・対話的な学習を創造する。
○学び合いを深めるための望ましい学習規律・学習習慣の確立を図る。

校長

渡部 明美

学力向上推進員

吉田 里紗 大藪 元子

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられた課題にもまじめに取り組むことができる。基礎的・基本的な知識・技能が概ね身に付いている。 ●学力差が見られ、個別指導の必要な児童が多い。	・基礎的・基本的な知識や技能を定着させ、必要な場面で活用することができる。 ・身に付いた個別の技能についても、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・朝の「北っ子タイム」を活用し、漢字や計算の復習を実施する。 ・小テストやプリントで基礎的・基本的内容の充実を図る。 ・タブレットを活用し復習の機会を多くするなどして、個人差に応じた支援をする。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の考えを理由をつけて発表したり、友達の意見をしっかりと聞いて自分の考えに取り入れたりすることができる。 ●表現力や発表する力には個人差が見られる。	・相手や目的に応じて根拠や理由を明らかにしながら自分の考えを豊かに表現できる。 ・他者の意見や情報を比較したり関連付けたりしながら自分の思いや考えを深めることができる。	・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。 ・ICT機器を活用することを取り入れ、話すことが苦手な児童の考えや思いも可視化し、共有できるようにする。 ・掲示している発表の仕方を意識させ、発表できるようにする。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○各授業、家庭学習に真面目に取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけ、自主的に学習することに個人差が見られる。	・自ら課題を見つけて学習することの楽しさや喜びを実感することができる。	・自主学習の見本等を配付し、どの児童も学習しやすいヒントを与えていく。 ・子どもの興味関心に関わる課題を設定し内発的動機付けに努める。			